

ディスクロージャー優良企業受賞に寄せて

株式会社三井住友フィナンシャルグループ 取締役 執行役専務 グループ CFO 中島 達

この度は、銀行部門において、ディスクロージャー優良企業に選定いただき、誠にありがとうございます。当社グループでは、「事業の発展を通じて、株主価値の持続的な増大を図る」ことを経営理念のひとつとして掲げ、企業・経営情報の適切なディスクロージャーを株主価値経営の前提として位置付けております。常日頃の IR 活動の中で、市場関係者の皆さまからいただいたご指摘を踏まえ、継続的な改善、向上に取り組んでまいりましたことが、今回の受賞に結びついたものと考えております。改めて厚くお礼申し上げます。

当社グループでは、「最高の信頼を通じて、日本・アジアをリードし、お客さまと共に成長するグローバル金融グループ」というビジョンの実現を目指し、2017 年 4 月より、中期経営計画「SMBC Group Next Stage」を実行しております。

「Discipline」「Focus」「Integration」の 3 つの基本方針に基づき、環境変化への対応や更なる強みの強化に向けた様々な施策に取り組んでおります。

IR 活動におきましては、決算後の投資家説明会や各種カンファレンス・個別面談、個人投資家向け説明会等を通じて、そうした取り組みについて分かりやすくお伝えするとともに、皆さまのご意見を社内にフィードバックすることに努めてまいりました。

例えば、2019 年 4 月のグループ CEO 交代を受け、投資家説明会において、「CEO として取り組むこと」として戦略の方向性についてご説明する

とともに、統合報告書に新 CEO の選定プロセスに関する社外取締役インタビューを掲載いたしました。また、当社グループのビジネスに対する理解を深めていただくべく、事業部門やグループ会社に関する開示を継続して拡充するとともに、毎年 6 月に開催している「SMBC グループ IR Day」において、各事業部門長が投資家の関心を踏まえたプレゼンテーション及び質疑応答を実施しております。

私自身、グループ CFO 就任は 2019 年 4 月ですが、2018 年度も財務の副担当役員として、皆さまとのコミュニケーションに携わってまいりました。これらの対話を通じて、戦略の方向性については、皆さまのご理解が得られていると自信を持てた一方、更なる株主還元への期待が非常に高いということも痛感いたしました。これらを踏まえ、2019 年度の株主還元策について、取締役会でも議論を重ねながら、増配と自己株取得の増額を決定した経緯にあります。また、ESG や SDGs 等、持続可能な社会の構築に向けた経営に対する関心が高まっていると実感したことは、TCFD 提言への対応の一環として、三井住友銀行における気候変動に伴う財務的影響の試算・開示につながっております。

今後も皆さまにとって有用な情報を積極的に開示していくとともに、双方向の対話を通じて、持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいります。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。